

鳥取県全域における空間放射線及び環境試料中の放射能調査

1 目的

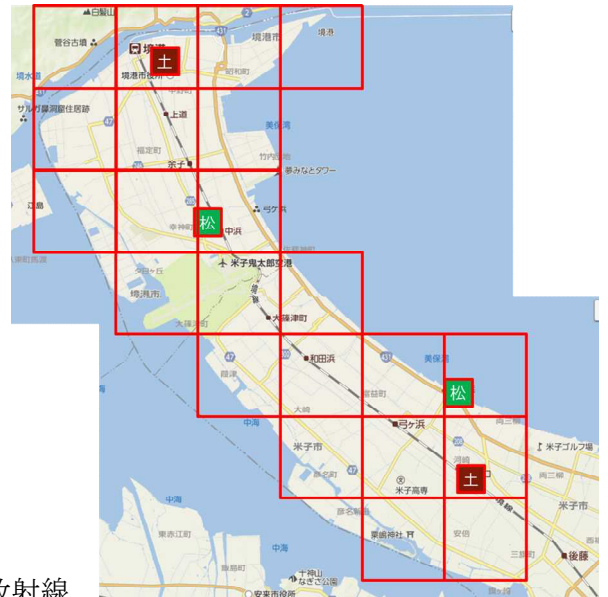
UPZ内の空間放射線量率等を高密度に面的に把握することにより、平常時及び緊急時モニタリングの評価に活用する。また、県内全域を追加調査することにより、県民への情報提供及び緊急時の評価に活用する。

2 概要

- (1) 調査期間：平成29年度～30年度
- (2) 実施機関：原子力環境センター
- (3) 調査内容：

ア UPZ内 (H29年度)

- ・空間放射線量率（主要道路の走行サーベイ）
- ・土壌、植物の核種分析（20地点程度：2kmメッシュに1地点程度を想定）
- ・海水、海底土の核種分析（定点以外に5地点）
- ・海水のトリチウム分析（定点以外に5地点）



イ 県内全域 (H30年度)

- ・H24年度に実施した県内全域の調査（項目：空間放射線量率、土壌・植物の核種分析等）について、UPZ外の26地点で再調査を実施し経年変化を確認
- ・走行サーベイ等の追加調査も検討中

